

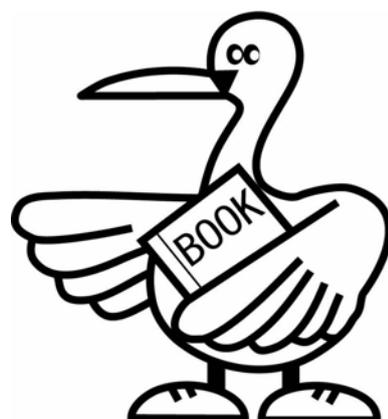
特集展示

へい わ ほん
平 和 の 本

目録 2008年版

「図書館でもっと知ろう！！
ヒロシマ・ナガサキ」

平塚市 平和月間 平成20年7月13日(日)～8月16日(土)



平塚市図書館
HIRATSUKA CITY LIBRARY

平塚市の平和月間にちなみ、平塚市図書館では毎年、平和や戦争をテーマとした特集展示を行っています。また、図書館にある平和や戦争に関する図書を紹介する目録を作成しています。今年は、「図書館でもっと知ろう！！ヒロシマ・ナガサキ」をテーマに、調べもの学習に使い易い目録を作成しました。学校の宿題や、自主研究の際にご活用いただければ幸いです。

目次

「図書館でもっと知ろう！！ヒロシマ・ナガサキ」	2
ヒロシマについて調べる	3
ナガサキについて調べる	8
ヒロシマ・ナガサキ共通のテーマについて調べる	12
ヒロシマ・ナガサキの絵本について調べる	18
新しい平和の本リスト	20

「図書館でもっと知ろう！！
ヒロシマ・ナガサキ」

ヒロシマについて調べる



1982年に広島を訪れたローマ法王ヨハネ・パウロ2世の言葉

「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命を奪います。戦争は死そのものです。過去をふり返ることは、将来に対する責任を担うことです。ヒロシマを考えることは、核戦争を拒否することです。ヒロシマを考えることは、平和に対して責任をとることです。」

(『平和学習ヒロシマノート』『平和学習ヒロシマノート』編集委員会編、平和文化、1991より抜粋)



ここでは、原爆が落とされた都市広島について調べるときに、おすすめの資料を紹介します。

Q.原爆はいつ、どこに落ちて、 どれくらいの被害を出したのですか？

広島は16世紀末に毛利家が築いた広島城の城下町として栄えてきました。

明治時代、日清戦争では明治天皇が戦争を指揮するための「大本営」が広島におかれ、日露戦争でも、広島は陸軍の大規模な作戦基地となり、ますます「軍事都市」としての性格を強めていきます。

昭和の時代に入ると、広島の軍事施設はさらに拡充されていきます。昭和18年(1943年)以降、戦局が悪化すると、日本軍は東京に第1総軍司令部を、広島に第2総軍司令部をおきます。さらに広島には中国地方の行政の最高機関である「中国地方総監府」もおかれました。このことから広島は戦時下の西日本の中心地であったことがわかります。

原爆が落とされたその日、広島はいつもと同じような月曜の朝を迎えました。午前8時の気温は26.8℃。夏のよく晴れた日でした。開戦以来空襲らしい空襲を受けてこなかった広島は、市民の間で安穏とした空気も流れていました。

そんなとき落とされた原爆は、人々に地獄を見せました。

原爆被害は放射線のほかにも、爆風や熱線など多くの要因によるものが記録として残されています。原爆被害の実態は、後々の後遺症も含めると計り知れないほどです。

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
平和への願いをこめて 原爆ドームに寄せられた手紙	広島平和文化センター編	広島平和文化センター	1990	中央館 貸出室 319.8
原爆災害	広島市・長崎市原爆災害誌編集委員会編	左に同じ	2005	中央館 貸出室 369.36
広島・長崎の原爆災害	広島市・長崎市原爆災害誌編集委員会編	左に同じ	1979	中央館 参考室 498.89 中央館 貸出室 498.89
原爆体験 六七四人・死と生の証言	濱谷正晴著	岩波書店	2005	西館 210.75

Q 爆心地の地図はありますか？

爆心地の地図は、大まかなものから詳細に至るものまで、多くの資料に掲載されています。

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
原爆爆心地 付・広島市原爆爆心地復元市街図	志水清編	日本放送出版協会	1969	中央館 貸出室 210.7
ヒロシマ爆心地 生と死の40年	NHK広島局・原爆プロジェクト・チーム	日本放送出版協会	1986	中央館 貸出室 319.8

Q. 当時はどのように報道されたのですか？

世界で初めて落とされた原爆の悲劇は、人々にどのように伝えられたのでしょうか？

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
ヒロシマはどう記録されたか NHKと中国新聞の原爆報道	NHK出版編	NHK出版	2003	中央館 貸出室 210.75 西館 210.75 南館 210.75
ヒロシマはどう伝えられているか ジャーナリストと教師が追いかけた45年目の原爆	90原爆の会編	日本評論社	1992	中央館 貸出室 319.8

Q.原爆投下の前後の比較できる写真が載った資料はありますか？

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
ビジュアルブック 語り伝えるヒロシマ・ナガサキ1	安斎育郎著	郷土出版社	1994	中央館 こども室 210 西館 210 南館 210

Q.被爆者の絵が載っているものはありますか？

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
図録 原爆の絵 ヒロシマを伝える	広島平和記念 資料館編	岩波書店	2007	中央館 貸出室 319.8
絵で読む広島 の原爆	那須正幹著 西村繁男画	福音館書店	1995	中央館 こども室 210 北館 210 西館 210 南館 210 あおぞら号 210

Q.被爆者の写真が載っている本はありますか？

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
広島・長崎 原子爆 弾の記録	子どもたちに 世界に！被爆の 記録を贈る会	著者に同じ	1978	中央館 貸出室 210.75
医師たちのヒロシ マ 原爆災害調査 の記録	核戦争防止・核 兵器廃絶を訴 える京都医師 の編	機関紙共同出 版	1991	中央館 貸出室 319.8
母と子で見る広 島・長崎	朝日新聞企画 部編	草土文化	1990	中央館 貸出室 210.75 中央館 こども室 210 北館・南館 210
母と子でみる原爆 を撮った男たち		草の根出版会	1990	中央館 こども室 319 北館 319

Q.原爆に関する施設や戦争遺跡の本はありますか？

広島には、世界遺産にも登録されている原爆ドームをはじめ、原爆の悲惨さを訴える施設や戦争遺跡が多く残されています。

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
ガイドブックヒロシマ 被爆の跡を歩く	原爆遺跡保存運動懇談会編	新日本出版社	1996	南館 319.8
被爆45年広島の声なき証言者たち	福島明博著	日本機関紙出版センター	1990	中央館 貸出室 210.76 北館 210.76
ヒロシマ散歩 原爆遺跡・戦跡をたずねて	植野浩著	汐文社	1997	中央館 貸出室 319.8
平和博物館・戦跡ガイド1 広島平和記念資料館と戦跡めぐり	佐藤広基 本地桃子著	郷土出版社	1994	中央館 参考室 KH213 中央館 貸出室 KY213.7 中央館 こども室 KY213 北館 213.7 西館 213.7 南館 213.7



Q. 被爆者の体験談が読みたいのですが。

数字より何より、体験談はわたしたちの心に強く記憶を焼きつけます。知って未来に伝えていかなければならないものです。

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
手記・被爆者たちの40年	朝日新聞大阪本社社会部編	朝日新聞社出版局	1986	中央館 貸出室 916
ヒロシマあの時、原爆投下は止められた いま、明らかになる悲劇の真実	TBSテレビ「ヒロシマ」制作スタッフ編	毎日新聞社	2006	中央館 貸出室 210.75 西館 210.75
ピカドン だれも知らなかった子どもたちの原爆体験記		講談社	2003	中央館 子ども室 369 南館 369

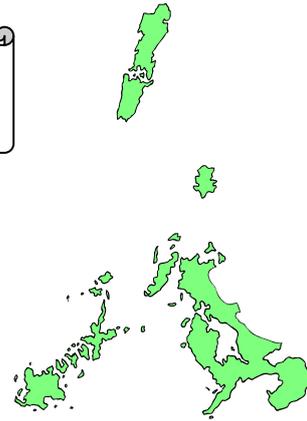
Q. 広島に関することがよくわかるインターネットのホームページはありますか？

タイトル	URL
広島平和記念資料館	http://www.pcf.city.hiroshima.jp/
広島県のホームページ	「教育・文化・交流」→「世界遺産」 http://www.pref.hiroshima.lg.jp/



ナガサキについて調べる

長崎市は、古くから海外との交流の玄関として発展してきました。しかし、日清戦争や日露戦争を経験する中で、しだいに造船業を中心とする軍需産業の都市へと変わってきました。そのため、広島への投下の3日後、昭和20年8月9日に原爆の被害を受けました。



Q.原爆はいつ、どこに落ちて、 どれくらいの被害を出したのですか？

昭和20年8月9日の未明に、原爆を積んだB29「ボックスカー号」と観測機がテニアン島の米軍基地を飛び立ちました。9時50分に最初の目標だった福岡県の小倉市街地と小倉造兵廠の上空に着きましたが、当日の小倉の上空には2日前に爆撃された八幡製鉄所の煙が立ち上っていました。そのため目標が見えず、機長は第2の目標としていた「長崎都市地域」に向かいました。

長崎市の上空も雲に覆われていましたが、雲の切れ間から長崎の第2の目標だった「三菱重工長崎兵器製作所」が見え（ちなみに第1目標は三菱重工長崎造船所でした）、目視によって原爆が投下されました。（投下の時刻は、午前11時2分）

長崎市が受けた被害について、さまざまな資料があります。例えば、1950年7月に長崎市原爆資料保存委員会の発表で次のようになります。

死者7万3884人 重軽傷者7万4909人

全焼 1万15574戸（半径4キロ以内、市内総戸数の約3分の1）



タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
ガイドブックながさき	長崎平和研究所編	新日本出版社	1997	西館 319.8
ナガサキの平和学	長崎平和文化研究所／編	八朔社	1996	中央館 貸出室 319.8
広島・長崎の原爆災害	広島市長崎市原爆災害誌編集委員会／編	岩波書店	1979	中央館 貸出室 498.89 参考室 498.89

Q.原爆はどういうものですか？

広島と長崎に投下された原爆の模型の写真は、『広島・長崎の原爆災害』8 pに掲載されています。長崎に投下された原子爆弾は、丸みを帯び、ファットマンと呼ばれていました。長さ3.5m直径1.5m、重さ4.5tありました。

原爆の威力は、爆薬等に換算されることがありますが、核分裂によって生じるエネルギーを放出するので、付随して放射線を放出します。アメリカの実験によれば、原爆の爆発点の温度は瞬間的に数100万度に達します。通常の火薬爆発は、5000℃程度であるので、エネルギーの大きさは桁違いに大きいものです。高温の熱線によって、爆心地からの距離が約4kmにおよぶ範囲内で体の露出部に熱傷の被害がありました。

原爆が投下された直後に発生したキノコ雲の写真は、『カラー写真で見る原爆秘録』4 p－5 p, 72 p－77 pに掲載されています。

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
広島・長崎の原爆災害	広島市長崎市原爆災害誌編集委員会／編	岩波書店	1979	中央館 貸出室 498.89 参考室 498.89
カラー写真で見る原爆秘録	原勝洋編著	ベストセラーズ	2001	中央館 貸出室 559.7

Q.爆心地の地図や空中写真はありますか？

爆心地は、長崎市北部の松山町（東経 129° 51′ 57″、北緯 32° 46′ 13″）付近と推定されています。長崎市は三方を小高い丘陵地に囲まれているため、被害は北半分集中しました。

原爆投下前と投下後に米軍によって撮影された空中写真は、『長崎よみがえる原爆写真』37pに掲載されており、姿を変えてしまった長崎の様子がわかります。

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
長崎よみがえる原爆写真	NHK取材班著	日本放送出版協会	1995	中央館 貸出室 319.8
広島・長崎の原爆災害	広島市長崎市原爆災害誌編集委員会／編	岩波書店	1979	中央館 貸出室 498.89 参考室 498.89
「ナガサキは語りづく」	長崎市／編	岩波書店	1991	中央館 貸出室 319.8

Q. 原爆に関する施設や戦争遺跡の本はありますか？

長崎市内には、多くの戦争遺跡が残されています。長崎市松山町には、原爆の落下点を示す中心碑があります。現在のものは、被爆直後のものから数えて5番目のものです（広島長崎修学旅行案内 新版 142p に写真が掲載されています）。最初のもは、コンクリート製の「爆心」・「Centre」とかかれたものです（『原子爆弾』114-115p に写真掲載があります）。

また、浦上天主堂は原爆で2個の鐘が落ちてしまいましたが、壊れなかった1個は新しく建てられた聖堂に再びつるされて「長崎の鐘」と呼ばれています。長崎大学医学部の南ある山王神社は原爆によって片足を失ってしまいました。現在も被爆の後をそのまま残している貴重なものです。

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
原子爆弾	翔泳社編集部編	翔泳社	1995	中央館 貸出室 559.7
広島長崎修学旅行案内 新版	松元寛著	岩波書店	1998	中央館 こども室 319 中央館 貸出室 319 北館・西館・南館 319
ガイドブックながさき	長崎平和研究所編	新日本出版社	1997	中央館 貸出室 319.8 西館 319.8

Q. 被爆者の体験談が読みたいのですが。

長崎で被爆した方の体験談は、多く残されています。被爆した時の状況やそれからの生活の苦勞などが生々しく伝わってきます。

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
原子野に生きる	福田須磨子／ 著 長崎の証 言の会／編	汐文社	1989	中央館 貸出室 916
わたしの見たあの日		横浜市原爆被 災者の会	1999	中央館 貸出室 916 北館 916 西館 916
ナガサキ 新版	長崎総合科学 大学平和文化 研究所編	岩波書店	1995	中央館 貸出室 319 中央館 こども室 319 北館 319 西館 319
日本の原爆記録 11	長崎の証言刊 行会／編	日本図書セン ター	1991	中央館 貸出室 916
小さき十字架	岡田ヒロ／著 長崎の証言の 会／編	汐文社	1991	中央館 貸出室 916

Q 長崎の原爆に関することがよくわかるインターネットのホームページはありますか？

タイトル	URL
長崎原爆資料館の ホームページ	http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/na-bomb/museum/

ヒロシマ・ナガサキ共通のテーマについて調べる

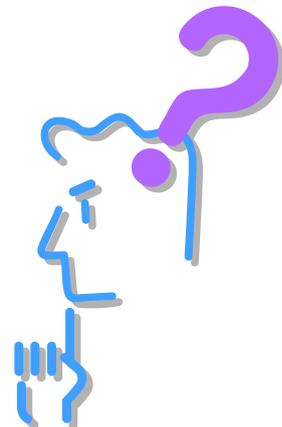
ここでは、平塚市図書館が持っている「広島と長崎に共通する内容が記された図書」を紹介いたします。このリストに載せた資料以外にも原子爆弾投下について書かれた資料は多くあります。図書館ホームページで「原爆」「広島」「長崎」「戦争」などの単語を入力し検索すると探せます。また図書館の本は内容によってラベルの番号が異なるので、ラベルの番号で棚を見て資料を探すこともできます。関連するラベルの番号はおおむね以下のものです。図書館の棚は基本的に、テーマに基づく分類法である日本十進分類法を用いたラベルの番号順に並んでいますので、活用してみてください。

日本史（昭和以降）→210.7（子ども向けの場合は210）
外交（戦争と平和）→319.8（子ども向けの場合は319）
社会福祉（放射能被爆者）→369.37（子ども向けの場合は369）
教科別学習（社会科教育）→375.3（子供向けの場合は375）
日本の歴史（広島県）→217.6（子ども向けの場合は217）
日本の歴史（長崎県）→219.3（子ども向けの場合は219）
兵器（核兵器）→559.7（子ども向けの場合は559）
日本の記録・手記・ルポタージュ→916
英米の記録・手記・ルポタージュ→936

それでは、次に具体的な問いに対して資料を紹介していきます。

Q.なぜ広島と長崎に原爆が落とされたのですか？

広島と長崎に原子爆弾が落とされたことには様々な理由があります。当時の国際的な政治状況、米軍の作戦、それぞれの都市としての性格、投下当日の天気などによってこの2つの都市に原子爆弾が投下されたようです。



子ども向けの本

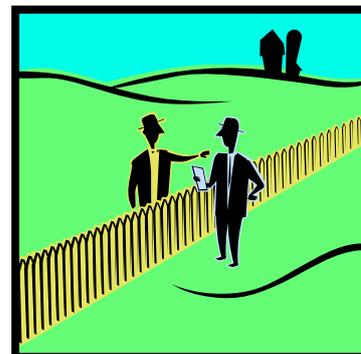
タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
ビジュアルブック語り伝えるヒロシマ・ナガサキ 第2巻	安斎育郎著	新日本出版社	2004	中央館子ども室 210 西館 210 南館 210
ビジュアルブック語り伝えるヒロシマ・ナガサキ 第3巻	安斎育郎著	新日本出版社	2004	中央館 子ども室 210 西館 210
絵で読む広島原爆	那須正幹著 西村繁男画	福音館書店	1995	中央館 子ども室 210 北館 210 南館 210
超空の要塞B29	柏木浩著	秋田書店	1982	南館 210
母と子で見る広島・長崎	朝日新聞企画部	草土文化	1990	中央館 子ども室 210 中央館 貸出室 210.75 北館 210 南館 210

一般向けの本

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
原子爆弾の誕生 下 普及版	リチャード・ローズ著 神沼二真訳 渋谷泰一訳	紀伊國屋書店	1995	中央館 貸出室 559.7 西館 559.7
物理学史と原子爆弾－核廃絶への基礎知識－	齊藤三夫著	新風舎	2004	中央館 貸出室 559.7
原爆を子どもにどう語るか－平和教育・被爆者運動の経験から－	横川嘉範著	高文研 1997	1997	中央館 貸出室 375.3 南館 375.3

Q.原爆投下について連合国の側から見た資料はないですか？

原子爆弾の投下と惨状については、多くの日本人が学校などで教えられて知っていますし、世界に訴えてもいます。そのときに、落とされた側からの視点とともに落とした側からの視点を知ることにより、より深く原子爆弾や平和について考えられるのではないのでしょうか。



子ども向けの本

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵館
超空の要塞B29	柏木浩著	秋田書店	1982	南館 210

一般向けの本

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵館
爆撃機ロンサムレディー号—被爆死したアメリカ兵—	トーマスC. カートライト著 森重昭訳	日本放送出版協会	2004	中央館 貸出室 936
オランダ兵士長崎被爆記	レネ・シェーファー著 緒方靖夫訳	草土文化	1983	中央館 貸出室 219.3
エノラ・ゲイ ドキュメント 原爆投下	ゴードン・トマス著 マックス・モーガン＝ウィッツ著 松田銑訳	TBSブリタニカ	1980	中央館 貸出室 210.75
私はヒロシマ、ナガサキに原爆を投下した	チャールズW. スウィーニー著 黒田剛訳	原書房	2000	北館 936

Q.原爆症とは何ですか？

原爆症とは、原子爆弾によって怪我をしたり、原子爆弾の放射線によって病気になったり、体に障害が出たりすることです。被爆者は原子爆弾が落ちた際の怪我だけでなく、その後も放射線の影響による病気の恐怖に襲われ続け、今でも苦しんでいる人がいます。

子ども向けの本

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
ビジュアルブック語り伝えるヒロシマ・ナガサキ 第1巻	安齋育郎著	新日本出版社	2004	中央館子ども室 210 西館 210 南館 210
ビジュアルブック語り伝えるヒロシマ・ナガサキ 第2巻	安齋育郎著	新日本出版社	2004	中央館子ども室 210 西館 210 南館 210
ビジュアルブック語り伝えるヒロシマ・ナガサキ 第4巻	安齋育郎著	新日本出版社	2004	中央館子ども室 210 西館 210 南館 211
ビジュアルブック語り伝えるヒロシマ・ナガサキ 第5巻	安齋育郎著	新日本出版社	2004	中央館子ども室 210 西館 210 南館 210
絵で読む広島原爆	那須正幹著 西村繁男画	福音館書店	1995	中央館子ども室 210 北館 210 南館 210
折り鶴の子どもたちー原爆症とたたかった佐々木禎子と級友たちー	那須正幹著 高田三郎絵	PHP研究所	1989	中央館子ども室 916 北館 916 南館 916

一般向けの本

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
かながわ被爆者のあゆみ	神奈川県原爆被災者の会		2001	中央参考室 K0369 西館 KY369.37 南館 KY369.37

原爆症－罪なき人の灯を継いで 原爆症認定集団訴訟を支援して－	郷地秀夫著	かもがわ出版	2007	西館 369.37
原爆被爆者の半世紀	伊東壮 著	岩波書店	1988	中央館 貸出室 319.8
被爆者はなぜ原爆症認定を求めるのか	伊藤直子著 田部知江子著 中川重徳著	岩波書店	2006	中央館 貸出室 369.37
ヒロシマからの報告－平和・教育・被爆者問題を考える－	山田浩編	労働教育センター	1976	中央館 貸出室 319.8



Q.日本は被爆国として何をしてきたのですか？

日本は世界で唯一の原子爆弾を落とされた国です。その立場から、広島と長崎は「平和宣言」を出していますし、原水爆禁止運動などの平和運動も行われています。さらに、被爆者は原子爆弾の悲惨さを多くの人に語り継いでいます。また、平塚市でも昭和60年（1985年）に「核兵器廃絶平和都市宣言」を出しています。



子ども向けの本

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
ビジュアルブック語り伝えるヒロシマ・ナガサキ 第2巻	安斎育郎著	新日本出版社	2004	中央館子ども室210 西館210 南館210
ビジュアルブック語り伝えるヒロシマ・ナガサキ 第4巻	安斎育郎著	新日本出版社	2004	中央館子ども室210 西館210 南館211
ビジュアルブック語り伝えるヒロシマ・ナガサキ 第5巻	安斎育郎著	新日本出版社	2004	中央館子ども室210 西館210 南館210
絵で読む広島原爆	那須正幹著 西村繁男画	福音館書店	1995	中央館子ども室210 北館210 南館210

一般向けの本

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
日本原爆論大系 第4巻	岩垂 弘	日本図書センター	1999	中央館貸出室319.8
原爆を子どもにどう語るかー平和教育・被爆者運動の経験からー	横川嘉範著	高文研 1997	1997	南館 375.3
新しい被爆者援護法のポイントー原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律の概要ー		ぎょうせい	1995	南館 369.37
被爆者援護法ー制定を拒むものは誰かー	椎名麻紗枝著	岩波書店	1991	中央館 貸出室 369.37 北館 369.37
被爆者はなぜ原爆症認定を求めるのか	伊藤直子著 田部知江子著 中川重徳著	岩波書店	2006	中央館 貸出室 369.37
ヒロシマからの報告ー平和・教育・被爆者問題を考えるー	山田浩編	労働教育センター	1976	中央館 貸出室 319.8

ヒロシマ・ナガサキの絵本について調べる

Q.ヒロシマ・ナガサキを題材にした読み物（絵本）はありますか？

「原爆絵本シリーズ」、「長崎平和絵本シリーズ」ほか、たくさんの本がでています。

(ヒロシマ)

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
ミサコの被爆ピアノ	松谷みよ子文 木内達朗絵	講談社	2007	中央館 貸出室 913 北館 913 西館 913
ヒロシマのピアノ	指田和子文 坪谷令子絵	文研出版	2007	中央館 こども室 E 南館 E 移動図 E
いわたくんちのおばあちゃん	天野夏美作 はまのゆか絵	主婦の友社	2006	中央館 こども室 E 北館 E 西館 E 南館 E 移動図 E
はとよ ひろしまの空を アニメ版	大川悦生原著 大川弘子著 大川富美著	ポプラ社	1999	中央館 こども室 E 北館 E 西館 E 南館 E 移動図 E
ヒロシマに原爆がおとされたとき	大道あや著	ポプラ社	2002	中央館 こども室 E 北館 E
ひろしまのエノキ	長崎源之助著 二俣英五郎画	童心社	1988	中央館 こども室 E 西館 E 南館 E
ひろしまのピカ	丸木俊著	小峰書店	1980	中央館 こども室 E 北館 E 西館 E 南館 E

ピンク色の雲—おばあちゃんのヒロシマー	宇留賀佳代子 文 稲田善樹絵	てらいんく	2007	中央館 こども室 E
MY HIROSHIMA	森本順子著	ブッキング	2006	中央館 こども室 E
わたしのヒロシマ	森本順子著	金の星社	1988	中央館 こども室 E 北館 E 西館 E 南館 E
原爆の火	岩崎京子著 毛利まさみち 画	新日本出版社	2000	中央館 こども室 E 北館 E 西館 E 南館 E 移動図 E
つるにのって アニメ版	ミホ・シボ著	金の星社	1994	中央館 こども室 913 北館 913 西館 913 南館 913
絵本おこりじぞう	山口勇子原著 沼田曜一著 四国五郎画	金の星社	1987	中央館 こども室 E 北館 E 西館 E 南館 E

(ナガサキ)

タイトル	著者	出版社	出版年	所蔵場所
かよこ桜	山本典人著 井口文秀絵	新日本出版社	1981	中央館 こども室 913 南館 913
あの夏の日	葉祥明著 長崎市訳	自由国民社	2000	中央館 こども室 E 西館 E 南館 E 移動図 E
ナガサキのおばあちゃん	高橋克雄著 吉田隆画	金の星社	2006	中央館 こども室 913 西館 913

平和月間の児童書の特集展示コーナーには、ヒロシマ・ナガサキ以外の戦争関連の簡単な読み物もあります。ぜひ、ご覧下さい。

新しい平和の本リスト

平成19年6月1日～平成20年5月31日に
図書館に入った図書のリストです。

平和に関する図書(一般向け)

タイトル	著者表示	出版者	出版年	所蔵情報	
				館名	請求記号
あなたは戦争で死ねますか(生活人新書 230)	斎藤貴男著 知念ウシ著 沼田鈴子著 広岩近広著	日本放送出版協会	2007	中央館	2階社会 319.8 サ I
戦争する国、平和する国—ノーベル平和賞受賞者現コスタリカ	小出五郎著	佼成出版社	2007	中央館	2階社会 312.57 コ I
特集展示 平和の本 目録—戦争について調べる—2007	平塚市中央図書館編	平塚市中央図書館	2007	中央館 北館	3階 地域 HA1 地域 KY 029.2 ヒ I
平和を求めて—戦中派は訴える—(学術叢書)	日野資純著	学術出版会	2007	中央館	2階社会 319.8 ヒ I
平和とコミュニティー—平和研究のフロンティア—(平和・コミュ)	宮島喬編著 五十嵐暁郎編著	明石書店	2007	中央館	2階社会 319.8 ミ I
平和日本はどこへ 1 政治編—戦後レジームは悪いか—	岩見隆夫著	原書房	2007	中央館	2階社会 304 イ J
平和日本はどこへ 2 国際編—憎悪が憎悪を呼ぶ—	岩見隆夫著	原書房	2007	中央館	2階社会 304 イ J
平和日本はどこへ 3 社会編—ブレーキが利かない—	岩見隆夫著	原書房	2008	中央館	2階社会 304 イ J
焼津流平和の作り方—「ビキニ事件50年」をこえて—	ビキニ市民ネット焼津編・著 加藤一夫監修	社会評論社	2007	中央館	2階社会 319.8 ヒ I

平和に関する図書(子ども向け)

タイトル	著者表示	出版者	出版年	所蔵情報	
				館名	請求記号
アンネ・フランク(おもしろくてやくにたつ子どもの伝記 14)	加藤純子著	ポプラ社	1998	中央館 西館	1階1~7 289 ア I 児3~5 289 Z
ピース・ブック	トッド・パール作 堀尾輝久訳	童心社	2007	中央館 北館 西館 南館	1階えほん Eヒ I 児童えほん Eヒ I お話コーナ Eヒ I えほん Eヒ I

核に関する図書(一般向け)

タイトル	著者表示	出版者	出版年	所蔵情報	
				館名	請求記号
原爆の絵—ヒロシマを伝える図録—	広島平和記念資料館編	岩波書店	2007	中央館	2階社会 319.8 ヒ I
被爆45年広島の声なき証言者たち—写真集—	福島明博著	日本機関紙出版セン	1990	中央館 北館	2階書庫A 210.76 R 一般13 210.76 フ I

核に関する図書(子ども向け)

タイトル	著者表示	出版者	出版年	所蔵情報	
				館名	請求記号
はだしのゲン—テレビドラマ版—	中沢啓治原作 君塚良一脚本 田中館哲彦〔ノ〕	ワイズ	2007	北館 南館	児童2~4 913 ハ I 児童5~7 913 ハ I
ヒロシマのピアノ(えほんのもり)	指田和子文 坪谷令子絵	文研出版	2007	中央館 南館	1階えほん Eヒ I えほん Eヒ I
ピンク色の雲—おばあちゃんのヒロシマ—	宇留賀佳代子文 稲田善樹絵	てらいんく	2007	中央館	1階えほん Eヒ I
ミサコの被爆ピアノ	松谷みよ子文 木内達朗絵	講談社	2007	中央館 北館 西館	1階 文学 913 ミ I 児童2~4 913 ミ I 児9~13 913 ミ I
娘よ、ここが長崎です—永井隆の遺児、茅乃の平和への祈り—	筒井茅乃作 松岡政春写真 保田孝写真	くもん出版	2007	中央館 北館 南館	1階 文学 916 ム I 児童2~4 916 ム I 児童5~7 916 ム I

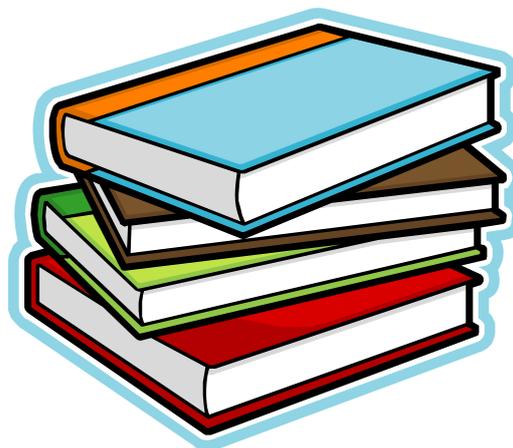
戦争に関する図書(一般向け)

タイトル	著者表示	出版者	出版年	所蔵情報	
				館名	請求記号
沖縄戦を生きた子どもたち	大田昌秀著	クリエイティブ21	2007	中央館	2階歴史 219.9 オ I
親と子が語り継ぐ満洲の「8月15日」―鞍山・昭和製鋼所の聞き書きある憲兵の記録(朝日文庫 あ 4-37)	田上洋子編	芙蓉書房出版	2008	中央館	2階文学 916 タ I
激闘ルソン戦記	朝日新聞山形支局著	朝日新聞社出版局	1991	西館	2階1 B 916 ア I
再現南京戦	井口光雄著	光人社	2008	中央館	2階文学 916 イ I
サムライたちの真珠湾(パールハーバー)	東中野修道著	草思社	2007	中央館	2階歴史 210.74 ヒ I
私観大東亜戦争	早瀬利之著	光人社	2007	中央館	2階歴史 210.75 ハ I
第二次世界大戦―世界を地獄に変えた火の7年間―(カラー)	三浦節著	元就出版社	2008	中央館	2階歴史 210.7 ミ I
鎮魂 特別攻撃隊の遺書	新星出版社編集部編	新星出版社	2007	中央館	2階歴史 209.74 シ I
特攻作戦―大空に散った青春若者たちの熱き思い―(別冊歴)	原勝洋編著	ベストセラーズ	2007	中央館 南館	2階歴史 210.75 ハ I 一般19 210.75 ハ I
南京大虐殺と日本の現在	新人物往来社	新人物往来社	2007	中央館	2階歴史 210.75 ト I
南京大虐殺と日本の現在	本多勝一著	金曜日	2007	中央館	2階書庫A 210.74 ホ I
肉声史『戦争を語る』	ゆめクラブ神奈川編	ゆめクラブ神奈川	2007	中央館	3階-O K0213
				北館	地域資料 KY 213.7 ユ I
				西館	2階12 KY 213.7 ユ J
				南館	一般地域 KY 213.7 ユ I
日中戦争への道―満蒙華北問題と衝突への分岐点―(講談社学術文庫 1846)	大杉一雄〔著〕	講談社	2007	中央館	2階文庫C BC 210.74 オ I
橋―ユダヤ混血少年の東部戦線―(20世紀メモリアル)	エルニ・カルツォヴィツチュ著 増谷英樹訳 小沢弘明訳	平凡社	1990	北館	一般13 234.07 カ J
8月17日、ソ連軍上陸す―最果ての要衝・占守島攻防記―	大野芳著	新潮社	2008	中央館	2階文学 916 オ I
炎の証言 第10号	平塚の空襲と戦災を記録する会編	平塚市博物館		中央館	2階地域 KY 398.3 ヒ
				北館	地域資料 KY 398.3 ヒ G
				西館	2階12 398.3 ヒ H
				南館	一般地域 KY 398.3 ヒ G
炎の証言 第11号	平塚の空襲と戦災を記録する会編	平塚市博物館	2006	中央館	3階地域資 HY8
				北館	地域資料 KY 398.3 ヒ H
				南館	一般地域 KY 398.3 ヒ J
ラバウルの真実―米国側資料が明かす―	吉田一彦著	ビジネス社	2007	中央館	2階歴史 210.75 ヨ I



戦争に関する図書(子ども向け)

タイトル	著者表示	出版者	出版年	所蔵情報	
				館名	請求記号
学研まんが日本の歴史 15 戦争への道 昭和時代・前期	田中正雄画	学習研究社	1990	中央館	1階1～7 210カI
				北館	児童しょこ 210R
				西館	児2～3 210T
				南館	児童1 210W
傘の舞った日(おはなしのピースウォーク 4)	日本児童文学者協会編 山田花菜絵	新日本出版社	2007	中央館	1階 文学 913カI
				北館	児童2～4 913カI
				西館	児9～13 913カI
				南館	児童5～7 913カI
こすもすベーカリー物語(おはなしのピースウォーク 6)	日本児童文学者協会編 松本春野絵	新日本出版社	2008	中央館	1階 文学 913コI
				北館	児童2～4 913コI
				南館	児童5～7 913コI
戦争(世界地図から学ぼう国際理解)	古内洋平著 こどもくらぶ編	ほるぷ出版	2007	中央館	1階1～7 319セI
				西館	児3～5 319セI
戦争とくらしの事典		ポプラ社	2008	中央館	1階1～7 210セJ
東京の赤い雪ー子どもに語りつぐ口演童話ー	漆原智良作 山中桃子絵	フレーベル館	2007	中央館	1階 文学 913トI
				北館	児童2～4 913トI
				南館	児童5～7 913トI
ネーネ。(くもんの児童文学)	海老名香葉子作 勝川克志絵	くもん出版	2007	中央館	1階 文学 916ネI
				西館	児9～13 916ネI
				南館	児童5～7 916ネI



平和・戦争に関するその他の図書(一般向け)

タイトル	著者表示	出版者	出版年	所蔵情報	
				館名	請求記号
赤い諜報員ーゾルゲ、尾崎秀実、そしてスメドレーー	太田尚樹著	講談社	2007	中央館	2階社会 391.61 オ I
アメリカに問う大東亜戦争の責任(朝日新書 062)	長谷川熙著	朝日新聞社	2007	中央館 南館	2階歴史 210.75 ハ I 17~18 G 210.75 ハ
「慰安婦」問題とは何だったのかーメディア・NGO・政府の功	大沼保昭著	中央公論新社	2007	中央館 南館	2階歴史 210.7 オ I 17~18 G 210.7 オ I
開戦、東條英機が泣いた(昭和史の大河を往く 第2集)	保阪正康著	毎日新聞社	2007	中央館	2階社会 312.1 ホ I
現代世界の戦争と平和	栗原優著	ミネルヴァ書房	2007	中央館	2階社会 319.8 ク I
ザ・レイプ・オブ・南京ー第二次世界大戦の忘れられたホロコーストー	アイリス・チャン著 巫召鴻訳	同時代社	2007	中央館	2階書庫A 222.07 チ I
真珠湾攻撃総隊長の回想ー淵田美津雄自叙伝ー	淵田美津雄著 中田整一	講談社	2007	中央館 西館 南館	2階伝記 289.1 フ I 2階5 289.1 フ I 一般19 289.1 フ I
戦争遺産探訪 日本編(文春新書 580)	竹内正浩著	文藝春秋	2007	中央館	2階歴史 209 タ I
戦争体験刻むー新しい語り部をめざしてー(母と子でみる A	編集委員会[編]	草の根出版会	2007	中央館 北館	2階文学 916 サ I 一般3 916 サ I
大東亜戦争の指揮官たち(WAC BUNKO B-068)	工藤美代子著	ワック	2007	中央館 西館	2階歴史 210.75 ク I 2階4 210.75 ク I
伝説の潜水艦長ー夫板倉光馬の生涯ー	板倉恭子著 片岡紀明著	光人社	2007	中央館	2階伝記 289.1 イ I
特攻基地知覧始末記	佐藤早苗著	光人社	2008	中央館	2階文学 916 サ I
日本のいちばん醜い日ー8・15宮城事件は偽装クーデター	鬼塚英昭著	成甲書房	2007	中央館 南館	2階歴史 210.75 オ I 一般19 210.75 オ I
長谷川テルー日中戦争下で反戦放送をした日本女性ー	『長谷川テル』編集委員会編	せせらぎ出版	2007	中央館 南館	2階伝記 289.1 ハ I 一般19 289.1 ハ I
悲劇の発動機「誓」ー天才設計者中川良一の苦闘ー	前間孝則著	草思社	2007	中央館	2階技術 538.3 マ I
ヒバクシャの心の傷を追って	中澤正夫著	岩波書店	2007	中央館	2階医学 493.74 ナ I
ヨシアキは戦争で生まれ戦争で死んだ	面高直子著	講談社	2007	中央館 北館	2階伝記 289.3 フ I 一般13 289.3 フ I
ラストメッセージーガラスのうさぎとともに生きてー	高木敏子著	メディアパル	2007	中央館 北館	2階文学 910.26 タ I 一般3 910.26 タ I
旅順と南京ー日中五十年戦争の起源ー(文春新書 605)	一ノ瀬俊也著	文藝春秋	2007	中央館 南館	2階歴史 210.65 イ I 17~18 G 210.65 イ

平和・戦争に関するその他の図書(子ども向け)

タイトル	著者表示	出版者	出版年	所蔵情報	
				館名	請求記号
アンネ・フランクー戦争の中で生きる希望を書きつづけた少女	高瀬直子画	小学館	1996	中央館 南館	1階1~7 289 ア I 児童1 289 X
椿の詩ー(2007年5月3日)憲法施行60周年記念・出版ー(けやきの絵本)	茂吉雅典[著] うすいしゅん絵	けやき書房	2007	中央館 北館 西館 南館	1階えほん E ツ I 児童えほん E ツ I お話コーナ E ツ I えほん E ツ I

核兵器廃絶平和都市宣言

わたくしたちのまち平塚は、過去に戦災を被り市域の多くを焼失した悲しい歴史をもつています。そして今のわたくしたちには、こうした惨禍をくり返すことのないよう、平和を守り次代へ引き継いでいく責務があります。

しかし、現在地球上には、数多くの核兵器が蓄えられ、人類に深刻な脅威を与えています。

世界の平和と安全は、すべての人の願いです。平塚市は、「国際平和の年」を迎えるにあたり、美しい地球と輝かしい未来を守るため、国是である非核三原則の順守とあらゆる核兵器の廃絶を願い、「核兵器廃絶平和都市」を宣言します

昭和六十年十二月二十日

平塚市

特集展示・平和の本 目録 2008年版

平成20年(2008年)7月発行

編集 平塚市中央図書館

発行 平塚市中央図書館

〒254-0041

神奈川県平塚市浅間町12-41

電話 0463-31-0415
